

有明工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	文学特講Ⅰ	
科目基礎情報							
科目番号	5Z003		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	創造工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		前期:1		
教科書/教材	『戦争と平和』（プリント配付）ＢＢＣドラマ『戦争と平和』DVD						
担当教員	藤崎 祐二						
到達目標							
1. 『戦争と平和』を通して、登場人物の心情や情景を読み味わうことができる。 2. 作品の時代背景を理解し、多角的な視点から解釈することができる。 3. ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする態度を育てる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	文章を読解し、文脈と要点を適切に把握することができる。		文章を読解し、文脈と要点を把握することができる。		文章を読解し、文脈と要点を把握することができない。		
評価項目2	『戦争と平和』に関する基礎知識を深く理解し、作品理解に役立てることができる。		『戦争と平和』に関する基礎知識を理解し、作品理解に役立てることができる。		『戦争と平和』に関する基礎知識を理解し、作品理解に役立てることができない。		
評価項目3	トルストイの生い立ちや思想を深く理解し、自分なりの考えを持つことができる。		トルストイの生い立ちや思想を理解し、自分なりの考えを持つことができる。		トルストイの生い立ちや思想を理解し、自分なりの考えを持つことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-1 学習・教育到達度目標 A-3							
教育方法等							
概要	トルストイ作『戦争と平和』の構成と内容を学ぶ。						
授業の進め方・方法	『戦争と平和』を概説する。その際、19世紀ロシアの社会・文化的背景や、作者トルストイの思想にも触れ、作品理解を深めることができるようにする。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	・ガイダンス ・トルストイについて		・学習目標と授業の進め方を理解できる。 ・作者についての知識を身につけ、作品の時代背景を理解できる。		
		2週	・『戦争と平和』その1 第一部第一編の概説		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		3週	・『戦争と平和』その2 第一部第二編の概説		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		4週	・『戦争と平和』その3 第一部第三編前半の概説		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		5週	・『戦争と平和』その4 第一部第三編後半の概説		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		6週	・『戦争と平和』その5 第二部の概説―登場人物それぞれの青春の過失とは―		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		7週	・『戦争と平和』その6 第二部の概説―アンドレイとナターシャ―		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		8週	・『戦争と平和』その7 第二部の概説―文明と自然―		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
	2ndQ	9週	・『戦争と平和』その8 第二部の概説―ピエールの彷徨―		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		10週	・『戦争と平和』その9 第三部の概説―ナポレオン軍の侵入―		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		11週	・『戦争と平和』その10 第三部の概説―ボロジノの戦い―		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		12週	・『戦争と平和』その11 第三部の概説―モスクワの大火―		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		13週	・『戦争と平和』その12 第四部の概説―叙事詩としての視点―		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		14週	・『戦争と平和』その13 第四部の概説―トルストイ文学の本質―		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		15週	期末試験				
		16週	テスト返却と解説		・答案返却により、理解不足だった箇所を確認し、学習内容を振り返ることができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0